

おたからカード

神仏

最澄自刻の伝承を持つ仏像

こくうぞう ぼさつりゅうぞう
虚空蔵菩薩立像



大津市指定文化財

平安時代 (12世紀)

華開寺蔵

平安時代後期の様式を示す優美な像。華開寺の境内の虚空蔵堂に主尊として安置されている。もとは高日山星林院の本尊という。立像の虚空蔵菩薩像は、とても珍しい。

おおつのおたからトレカ

© 2026 大津市歴史博物館

おたからカード

文書

サソリ？本当は蓮の花だよ

れんげもんほうけいのきがわら
蓮花文方形軒瓦



大津市指定文化財

白鳳時代 (7世紀後半)

近江神宮蔵

天智天皇が遷都した近江大津宮の関連遺跡である南滋賀町廃寺跡から出土した。文様はかつてサソリ文とも考えられたが、横から見た蓮の花の形を表したものの。軒丸瓦にあたるが、方形に作られた全国でも他に例のない珍しい形。

おおつのおたからトレカ

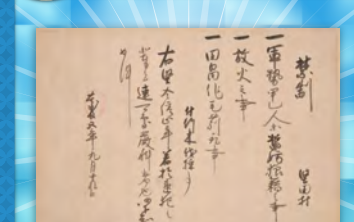
© 2026 大津市歴史博物館

おたからカード

文書

中世に栄えた堅田の様子とは

とくがわいさやすきんぜい いそめけもんじょ
徳川家康禁制 (居初家文書)



大津市指定文化財

慶長 5 年 (1600)

大津市歴史博物館蔵

慶長 5 年 (1600) 9 月 19 日に出された堅田村宛ての徳川家康による禁制。禁制とは、権力者が禁止事項を示した文書のこと。居初家は中世の堅田諸侍の系譜で、近世には船道郷土として堅田の村政の中心的存在だった。

おおつのおたからトレカ

© 2026 大津市歴史博物館

おたからカード

美術

龍の骨がでた！！！！

ふくりゅうこつ の ず りょうけもんじょ
伏龍骨之図 (龍家文書)



大津市指定文化財

文化元年 (1804) 頃

個人蔵

文化元年 (1804)、滋賀郡南庄村 (現在の伊香立南庄町) で市郎兵衛という百姓が掘り出したとある化石の絵。発見された化石は臈所藩主本多康完 (やすさだ) に献上され、当時の有識者によって「龍骨」と判定されたが、本当は象の化石。

おおつのおたからトレカ

© 2026 大津市歴史博物館

おたからカード

祭りの

江戸時代に日吉大社で使われていた神輿

こんどうそう み こし
金銅装神輿



大津市指定文化財

江戸時代 (17～19世紀)

木戸共有者会蔵

木戸の樹下神社の春祭りに集まっていた 5 基の神輿の内の 1 基。もとは坂本の日吉大社二宮神輿で、安政 5 年 (1858) 木戸村に譲り渡された。現在は収蔵庫に保管され、新しく造られた神輿が巡行している。

おおつのおたからトレカ

© 2026 大津市歴史博物館

おたからカード

神仏

門番界の大御所コンビ！

し し こまいぬ
獅子・狛犬



重要文化財

平安時代 (12世紀)

若松神社蔵

獅子や狛犬は、神社や寺院の門番のような役割を果たしている。若松神社の本殿の縁側に安置されている。全体を 1 本の木から彫り出す一木造りの技法で造られている。

おおつのおたからトレカ

© 2026 大津市歴史博物館

おたからカード

文書

古代寺院があった証拠の瓦！

ふくべんれん げ もんのきまがわら
複弁蓮華文軒丸瓦



大津市指定文化財

白鳳時代 (7世紀後半)

園城寺蔵

天台寺門宗の総本山園城寺 (三井寺) は、貞観 8 年 (866) 円珍によって天台別院として再興された。この複弁蓮華文軒丸瓦は、現在の金堂周辺出土と伝わり、白鳳時代には園城寺の前身にあたる古代寺院があったことを示している。

おおつのおたからトレカ

© 2026 大津市歴史博物館

おたからカード

文書

最澄のキャリアはここから始まった！

てんぎょうだい し しゅぎょうにゅうい き
伝教大師修行入位記



大津市指定文化財

延暦 11 年 (791)

比叡山延暦寺蔵

「伝教大師修行入位記」は、最澄が生前に授与された位記の原本。最澄が「修行入位」の位を授けられたことが記される。京都・来迎院に伝わる国宝「伝教大師度縁案並僧綱牒」と一具であったことが判明した貴重な資料。

おおつのおたからトレカ

© 2026 大津市歴史博物館

おたからカード

美術

視線をあわす猿の親子

かき さる ゆ ず ずびょうぶ
柿に猿・柚子図屏風



大津市指定文化財

江戸時代 (17世紀)

西教寺蔵

左隻には柚子の大樹を、右隻は柿の老木を描く。右隻の中央上方の枝につかまる小猿は、幹の根本を歩く親猿と視線をあわせている。当時は花鳥図が主流だったため、1 隻に柚子のみ描かれているのは珍しい。

おおつのおたからトレカ

© 2026 大津市歴史博物館

おたからカード

祭りの

一度見たら忘れられない顔！

へびめん
蛇面



大津市指定文化財

室町時代 (15世紀)

酒井神社蔵

酒井神社は、元亀 2 年 (1571) の比叡山焼き討ちで焼失。坂本城主浅野長吉がこの社を復興した。蛇面は両側に欠損し、表面の彩色も落ちているが、力強い表情のもの。

おおつのおたからトレカ

© 2026 大津市歴史博物館

おたからカード

神仏

平安後期には類例の少ない金銅仏

せんじゅかんのりゅうぞう
千手観音立像



大津市指定文化財

平安時代 (12世紀)

園城寺蔵

園城寺の五別所の 1 つで、「高観音」とも呼ばれる近松寺 (ごんしょうじ) の本尊です。丸みのある顔立ちや開きの小さい眼差し、浅く整えられた衣服のしわは、平安時代後期に造られた仏像の特徴を示しています。

おおつのおたからトレカ

© 2026 大津市歴史博物館

おたからカード

文書

平安末期の風俗を描いた貴重な資料

ぼくがどき
墨画土器



大津市指定文化財

平安時代 (12世紀)

大津市埋蔵文化財調査センター保管

上仰木遺跡から出土した。内面に僧侶・女性・長刀が、外面にも女性の姿等が、墨画で描かれる。全体で 1 つの場面を構成する図柄ではないが、墨画土器は珍しく、平安時代末期の風俗画としても貴重である。

おおつのおたからトレカ

© 2026 大津市歴史博物館

おたからカード

文書

水運を掌握した船持仲間の資料

おおつ ひやくそうせんかんけいしりょう
大津百艘船関係資料



重要文化財

江戸時代

大津市歴史博物館蔵

大津百艘船とは、天正 15 年 (1587) に、豊臣秀吉の命令により大津城主浅野長吉が大津に集めた船持の集団のこと。大津からの人と物資輸送の独占という特権を与えられた。この資料群は、大津百艘船船持仲間に伝来した。

おおつのおたからトレカ

© 2026 大津市歴史博物館

おたからカード

美術

大津の名所を四季の変化とともに

おうみめいしし ずびょうぶ
近江名所図屏風



大津市指定文化財

江戸時代 (17世紀)

大津市歴史博物館蔵

6 曲 1 双の屏風。四季の変化の中で、年中行事、稲作、遊興などを臈所城、田上の里、琵琶湖などの景観をまじえて描く。特に瀬田川に架かる唐橋と中之島を行き交う人々や店のにぎわいを描いているのが注目ポイント。

おおつのおたからトレカ

© 2026 大津市歴史博物館

おたからカード

祭りの

口を結んだお顔は癒見面の特徴

べしめん
癒見面



大津市指定文化財

室町時代 (15世紀)

酒井神社蔵

酒井神社は、元亀 2 年 (1571) の比叡山焼き討ちで焼失。坂本城主浅野長吉がこの社を復興した。癒見面は、左目の金具を失い、縦に割れのある点が惜しまれるが、表現は力強い。11 月 23 日の「マイドコ」という行事に使われていた。

おおつのおたからトレカ

© 2026 大津市歴史博物館

おたからカード

神仏

小さな像の繊細な文様をご覧あれ

しゅか ねほんぞう
釈迦涅槃像



大津市指定文化財

鎌倉時代 (13世紀)

新知恩院蔵

涅槃像とはお釈迦様が亡くなる時の姿を表した像。立体の涅槃像は、全国的には作例が少ない。体の大きさが 12.8 cm と小さく、体に金泥や截金 (きりかね) を施し、さらに胸の部分に水晶をはめこんでいる。

おおつのおたからトレカ

© 2026 大津市歴史博物館

おたからカード

文書

インドの風を感じる古代の仏様

せんぶつ
埴仏



大津市指定文化財

白鳳時代 (7世紀後半)

個人蔵

石居廃寺跡から出土した埴仏の 3 点のうちの 1 つ。埴仏は、粘土を型につめて焼いたタイル状の仏像のこと。大津市内では他に崇福寺跡でも出土している。

おおつのおたからトレカ

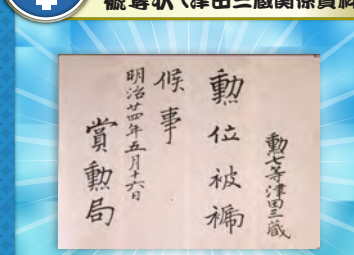
© 2026 大津市歴史博物館

おたからカード

文書

明治の日本を震撼させた大津事件

ちだつしやう つ ださんぞうかんけいしりょう
瀬奪状 (津田三蔵関係資料)



大津市指定文化財

明治時代 (19世紀)

大津市歴史博物館蔵

明治 24 年 (1891) 5 月 11 日、ロシア皇太子が警備にあたったいた巡査津田三蔵に斬りつけられ負傷した大津事件に関する資料。「津田三蔵斬七等褫奪状」は、事件後に三蔵が西南戦争で受勲した勲章を取り上げたときのもの。

おおつのおたからトレカ

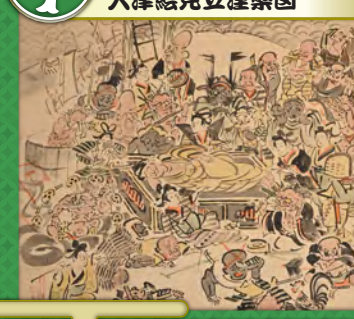
© 2026 大津市歴史博物館

おたからカード

美術

涅槃の場に大津絵キャラが大集合

おおつ え みたて おほんず
大津絵見立涅槃図



大津市指定文化財

江戸～明治時代 (19世紀)

個人蔵

職業絵師が我流で大津絵風に描いた、絵変り大津絵の作品。釈迦が亡くなる時に集まった菩薩や羅漢・僧侶・会衆、生きものたちを大津絵キャラクターで見立てている。

おおつのおたからトレカ

© 2026 大津市歴史博物館

おたからカード

祭りの

まさに鬼の形相！

おにめん
鬼面



大津市指定文化財

室町時代 (15世紀)

酒井神社蔵

酒井神社は、元亀 2 年 (1571) の比叡山焼き討ちで焼失。坂本城主浅野長吉がこの社を復興した。鬼面は誇張された忿怒の様を強い調子で彫り出した迫力あるもの。11 月 23 日の「マイドコ」という行事に使われていた。

おおつのおたからトレカ

© 2026 大津市歴史博物館

おたからカード

神仏

日吉山王の神々を描いた曼荼羅

ひ えさんのうすいじやくしんまん だ ら
日吉山王垂迹神曼荼羅



大津市指定文化財

鎌倉時代 (14世紀)

蔵之辻伴蔵

社殿内陣に日吉社の上七社の神々を、大床 (縁) に赤山明神・早尾・大行事の 3 神を描いている。「山門公人」と呼ばれる人々に結成された「山王講」の本尊として祀られる。鎌倉時代までさかのぼる古い作例。

おおつのおたからトレカ

© 2026 大津市歴史博物館

おたからカード

文書

琵琶湖に浮かぶ幻の水城の瓦

のきまがわら のきひらがわら
軒丸瓦・軒平瓦



大津市指定文化財

安土桃山時代 (16世紀)

大津市埋蔵文化財調査センター保管

明智光秀が築城した坂本城跡から見つかった赤と黒の瓦。赤褐色の瓦は、建物の炎上などで変色したのではなく、焼き方を変えてあえて発色させたことがわかっていく。坂本城には赤と黒、2 色の瓦が置いてあったのかもしれない。

おおつのおたからトレカ

© 2026 大津市歴史博物館

おたからカード

文書

戦時下を生きる女子児童の記録

せ た こくみんがっこうえい にっき
瀬田国民学校絵日記



大津市指定文化財

昭和 19 年～20 年

大津市歴史博物館蔵

昭和 19 年 (1944) 度に瀬田国民学校 (現、瀬田小学校) 五年智組の女子児童たちが描いた絵日記。全 188 日分があり、和紙に墨と水彩で学校生活のようすが記録されている。戦時下における子どもたちの生活がわかる貴重な資料。

おおつのおたからトレカ

© 2026 大津市歴史博物館

おたからカード

美術

釈迦の教えを護ると誓った 16 人

じゅうろく かん ず
十六羅漢図



大津市指定文化財

鎌倉時代 (14世紀)

新知恩院蔵

釈迦の教えを護ることを誓った 16 人の羅漢を 1 人 1 幅ずつ描きだしたもので、全 16 幅ある。宋画の影響を受けた水墨画的表現をみせているのも特徴のひとつ。

おおつのおたからトレカ

© 2026 大津市歴史博物館

おたからカード

祭りの

湖国三大祭のひとつ天孫神社の祭礼

おおつまつり ひきやまきょうじ
大津祭の曳山行事



大津市指定文化財

大津祭保存会

毎年 10 月に行われている大津祭の曳山行事は、令和 7 年 (2025) 12 月 11 日、ユネスコ無形文化遺産の「山・鉾・屋台行事」へ追加記載された。13 基の曳山が街中を巡行し、曳山上で演じられるからくりも見応えがある。

おおつのおたからトレカ

© 2026 大津市歴史博物館